

# 互いの違いを認め合い、 多様性あふれる社会へ

～見た目の症状とともに自分らしく生きる～

定員  
100人



日程

平成30(2018)年

2月10日 [土]

午後1時30分～

場所

あわぎんホール

(徳島県郷土文化会館)

5階小ホール

徳島市藍場町2丁目14



主催・お問い合わせ先

あいぽーと徳島

徳島県立人権教育啓発推進センター

指定管理者 特定非営利活動法人

徳島ヒューマンネット

〒770-0873

徳島市東沖洲2-14

沖洲マリンターミナルビル内

TEL 088-664-3719

FAX 088-664-3727

Eメール info@aiport.jp

「見た目問題」とは

美人、イケメン…それまたしかに「見た目」の問題ですが、私たちが取り組んでいるのは、生まれつき顔にアザがあったり、事故や病気で顔や身体が変形・欠損したり、やけど、脱毛、マヒなど「見た目」に症状があるみなさんが日々ぶつかっている問題です。ジロジロ見られたり、心ない言動に傷つけられたり、しかし、生命の危機も治療の緊急性も少ない「見た目問題」は、難病に指定されにくいなど軽く考えられがちです。そんな過酷な経験をしながら逆境を乗り越えて成長する姿を紹介します。社会がこうした問題に対する認識を深めて、総合的な支援に広がればと思います。

■ スケジュール

13:30～	開	会	主催者あいさつ
13:35～	講	演	外川浩子さん
14:05～	舞台	転換	
14:10～	公	演	一人芝居・河除静香さん
14:50～	休	憩	
15:00～	対	談	
15:45	閉	会	

■ 講演の部



NPO法人  
マイフェイス・  
マイスタイル  
(MFMS)  
代表

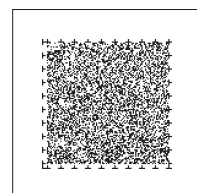
とがわ ひろこ  
外川 浩子さん

■ 公演の部 (一人芝居)



Smiley Tomorrow  
～北陸から見た目  
問題を考える～  
代表

かわよけ しずか  
河除 静香さん



## ■ 講演の部

とがわ ひろこ  
NPO法人マイフェイス・マイスタイル (MFMS) 代表 **外川 浩子** さん

「見た目問題」ジャーナリスト。東京都墨田区生まれ。20代の頃つきあった男性の顔に大きな手術痕があったことから「見た目問題」と出会う。人は「見た目」で人を判断することを素直に認めた上で、「見た目」の症状はけっして人生を負の方向に決定づけるものではない！と伝え続けている。

NPO法人マイフェイス・マイスタイル(MFMS)は、「見た目」に症状があるが故に直面・内包する問題を「見た目問題」と名づけ、解決におけて、日々活動している。「見た目問題」を解決するためには、すべての人の心の中にある“意識”の变革と“社会の壁”をなくすことが重要と考え、当事者団体、患者会、行政、教育機関、医療機関、メディア、企業などと広くネットワークをつなぎ、誰もが自分らしい顔で自分らしい生き方を楽しめる社会を目指している。

## ■ 公演の部 (一人芝居)

かわよけ しずか  
Smiley Tomorrow ～北陸から見た目問題を考える～代表 **河除 静香** さん

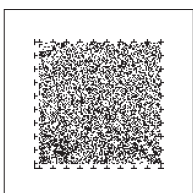
1975年生まれ。富山県南砺市在住。「顔面動静脈奇形」という病気で生まれつき鼻と上嘴唇に変形があり、いじめ、差別、ジロジロ見られる…などの「見た目問題」当事者。2011年に「Smiley Tomorrow ～北陸から見た目問題を考える～」を立ち上げ、見た目症状があることが苦にならない人生、笑顔の明日を目指して交流会やイベントを開催。14年からは、「見た目問題」を題材にした一人芝居を始め、その様子がメディアに取り上げられる。今後も、「幸せ発信」をテーマに活動していきたいと希望している。

### 「見た目問題」を取り巻く現状

これまで社会的な問題として考えられてきませんでした。そのため、日本における当事者の正確な人数はわかっていません。

医療機関や当事者団体による公表、海外の統計などから、日本には80万～100万人いるとされています。

「見た目」に症状がある多くは機能的な障害がないため、公的な支援がありません。そこで、関連企業、教育機関、医療機関、行政、メディア、一般サポーターそして海外の団体などと広くネットワークをつなぎ、当事者を総合的に支援する体制づくりが求められています。



書籍：顔ニモマケズ

著者：水野敬也

文響社 2017年発行

外見が原因で「恋愛ができない」

「仕事があまくいかない」「幸せになれない」

「見た目が9割」の現代社会で幸せになる方法